

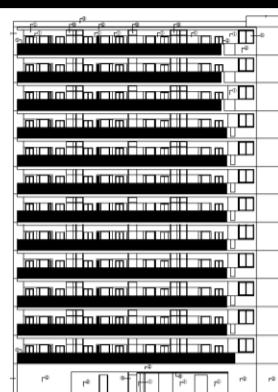
■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021SDGs対応版_追補版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4)

1-1 建物概要

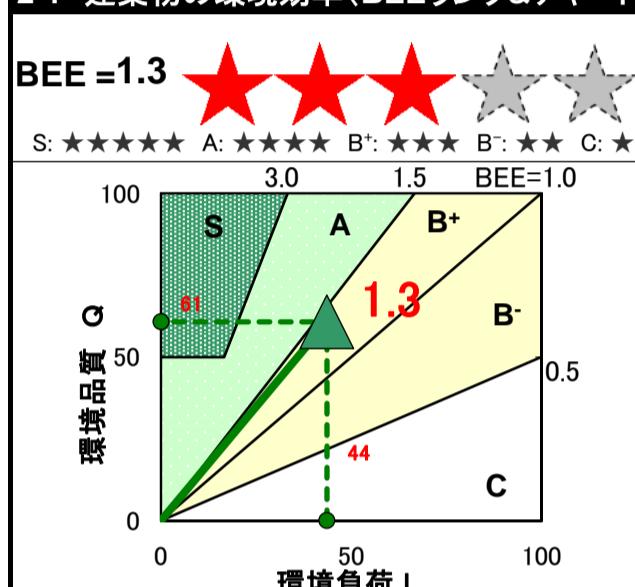
建物名称	(仮称)ガーラ・レジデンス相模大塚新築工事
建設地	神奈川県大和市桜森二丁目143番4,11,23
用途地域	商業地域、防火地域
地域区分	6地域
建物用途	集合住宅,
竣工年	2027年9月 予定
敷地面積	704 m ²
建築面積	326 m ²
延床面積	3,008 m ²

階数	地上13F
構造	RC造
平均居住人員	130 人
年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2025年4月7日
作成者	株式会社オームラ建築設計
確認日	2025年4月7日
確認者	株式会社オームラ建築設計

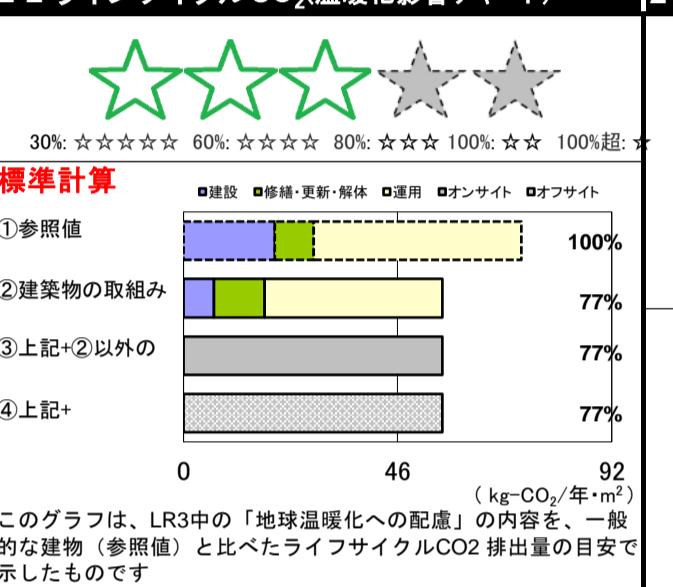
1-2 外観



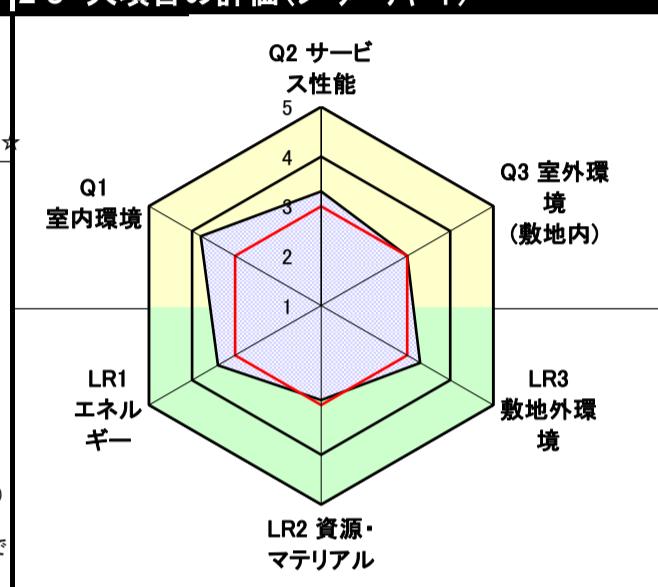
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



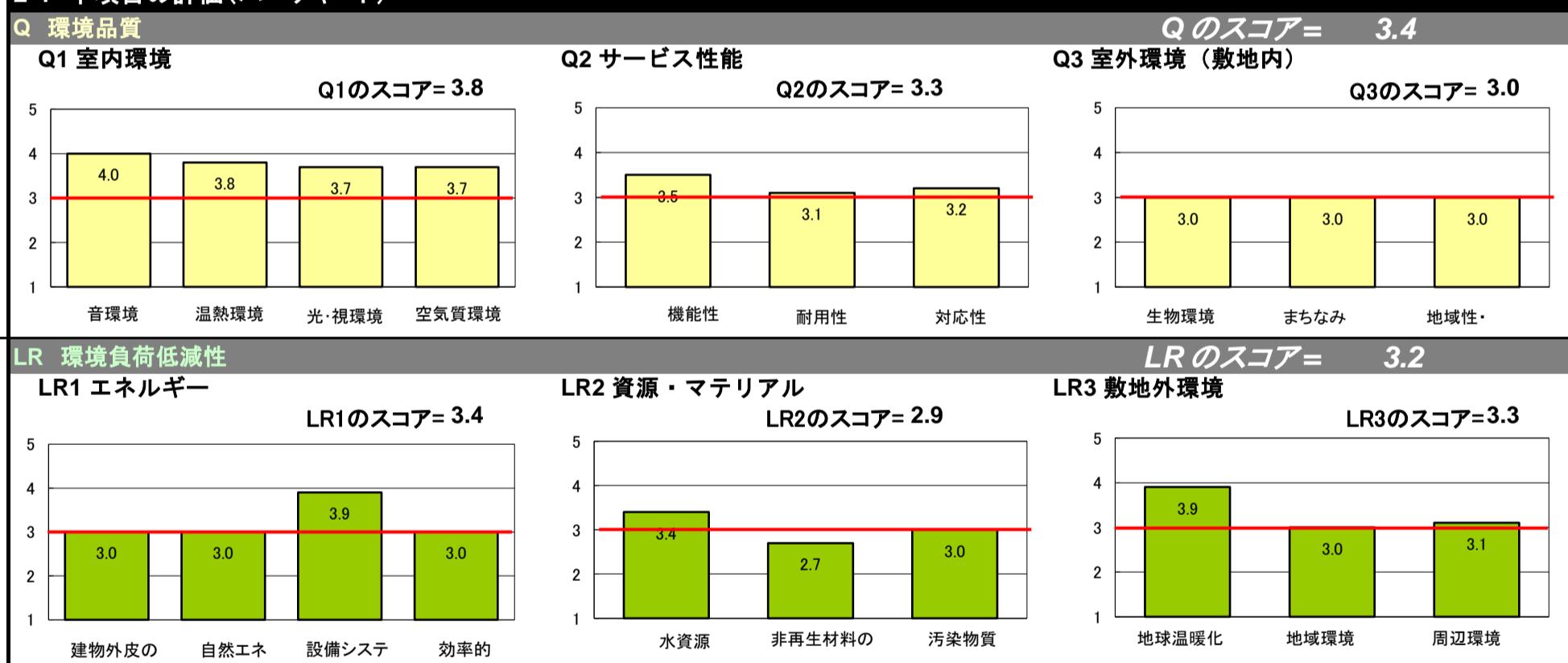
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合

相鉄本線相模大塚駅から近い商業地域に、共同住宅を13F・RC造で計画した。

その他

特になし。

Q1 室内環境

遮音等級T-4サッシを使用している。
カーテンと庇で日光制御している。
建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。

Q2 サービス性能

光・LAN機器の採用にてGbitクラスのプロトコルが利用可能。
維持管理しやすい内装・外装を使用している。
劣化対策等級3相当としている。

Q3 室外環境 (敷地内)

特になし。

LR1 エネルギー

特になし。

LR2 資源・マテリアル

節水コムと節水型便器を使用している。
壁・天井のLGS採用にて分別容易である。

LR3 敷地外環境

広告物照明は、行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される